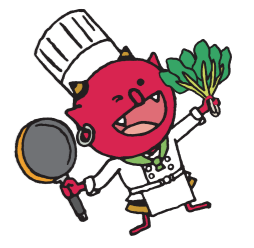




いわての食材を、全国のレストランへ!

岩手の豊かな自然が育んだ食材を全国へ。JA全農いわてでは、飲食店や小売店等でのフェア・キャンペーンを通じて「純情産地いわて」の魅力を伝えていきます。産地の想いと消費者の声をつなぐ、私たちの取り組みをご紹介します。

JA全農いわて(岩手県本部)では、岩手県産食材の魅力を全国に広くお伝えするために、JA全農(本所)と連携しながらさまざまなフェアやキャンペーンを展開しています。
JA全農の広範なネットワーク・安定した運営基盤を活かし、東京・大阪などの大消費地にある飲食店・小売店を中心に「岩手の食材のファン」を全国に増やす機会を創出。単に食材を提供・販売するのではなく「生産者から生活者へ物語(ストーリー)を繋ぐこと」を常に意識し「産地の想い」も一緒に届けています。



START

フェア開催の企画・提案

岩手県本部
フェアの実施に向け企画を立て、全農本所に提案します。

全農本所
提案を受け、旬の時期など産地の状況についてヒアリングします。

MISSIONの一例

— 東京と大阪で県産 食材のフェアを開催 —

①

店舗の調整と決定

全農本所
全国の直営店舗の中から、PR効果が最も高い東京を拠点に実施エリアや店舗を選ぶとともに、最適な開催時期を決定します。

②

メニューの開発

全農本所
岩手から届いた食材のサンプルをもとに、食材の魅力を最大限引き出すメニューを開発。考案したメニューは産地にフィードバックします。

③

食材の調達・供給

岩手県本部
県内のJAや県本部の担当部署と連携し、スムーズにフェアが開催されるよう、食材の調達・供給を行います。

④ 「いわて純情むすめ」も全力でPR!

広報活動・情報発信

岩手県本部
地元のテレビ・新聞などのメディアも活用し、産地に根付いた情報を発信。

全農本所
プレスリリースの配信やホームページ・SNSでの告知を通じ、全国規模でPR展開。

GOAL

「岩手県産 和牛とお米のフェア」を東京1店舗・大阪2店舗で開催!

2026年4月29日～6月25日
※詳細はP7へ

フィードバック

岩手県本部 **全農本所**
アンケート等で集まった「お客様の声」を報告書にまとめ、産地にフィードバック。産地にもお客様の声を届けます。



JA全農いわて 純情ブランド推進室
川村 真理

「美味しかった」の声を、生産者のやりがいに

フェア開催における岩手県本部の役割は、本所と連携し、時には全国組織の強みを発揮して「より多くの方に岩手県産食材を味わっていただく機会を創出すること」と考えています。フェアを通じて岩手ファンになっていただき、日々の食材選択に「岩手」が増えれば、産地としての評価が高まり、生産者の生産意欲にもつながる。そのような好循環を生み出せるよう取り組んでいます。

岩手県本部の熱意が、フェアを成功に導く力に

岩手県本部から寄せられる提案には「産地・生産者を盛り上げたい」という気概を感じます。特に、地元のメディアを活用して集客や認知向上に大きく貢献してくださる点は、大変頼もしく、「いわて純情むすめ」のアピール力にも助けられています。また、フェア開催においては、生産者とJA、県本部の連携も良い点が、質の高いフェアを実現する力になっていると思います。



JA全農 フードマーケット事業部
清水 麻里さん

生産者と消費者を結ぶ架け橋 JA全農 みのりみのるプロジェクト

食と農を通じて、生産者と生活者が互いを想い、共感し合える場を提案するプロジェクト。JAグループのネットワークを活かし、全国に約50店舗の飲食店を展開。各地の豊かな風土で育まれた旬の国産食材を、JA全農ならではの確かな品質で提供しながら、生産者の想いをダイレクトに届け、地域農業の活性化を支えます。



「岩手の食のアンテナショップ」に みのるダイニング 盛岡フェザン店



●盛岡市盛岡駅通1-44
●盛岡駅ビルフェザン おでんせ館1F
●営業時間/11:00～21:30
●定休日/なし ●電話/019-601-7214

盛岡駅直結の駅ビル「フェザン」内にあり、JA全農の安全・安心で美味しい岩手県産食材を使ったメニューを提供。お米は「銀河のしずく」、肉は「いわて牛」や「いわて純情豚」、もちろん野菜やフルーツも岩手県産のものを積極的に使用しています。

駅ビルという場所柄、旅行や出張で訪れた県外からのお客様も多いのですが「このお米、すごく美味しい!」など、岩手の食材について褒めていただくことも多く、私たちも嬉しく思っています。今後はよりいっそう「作り手の顔が見える店づくり」に力を入れ、「岩手の食のアンテナショップ」のような存在を目指したいと考えています。



みのるダイニング 店長
橋本 謙治さん

いわて純情ハンバーグ定食 1,749円(税込)

岩手県産牛といわて純情豚をぜいたくに使った、人気No.1メニュー。「ごはん&味噌汁」または「バケット&スープ」が付きまます。



ブルーベリーパフェ 869円(税込)

岩手県産「おおのミルク村 ゆめ牛乳」をミックスしたソフトクリームに、JA新しいわてのブルーベリーをたっぷりトッピングしています。
※価格は2026年5月1日時点となります。



生産者と共に奮闘する
営農支援部の活動をレポート

TRY! 営農支援 レポート



営農支援部
営農技術課
藤原 靖史

バイオスティミュラントについて

1. バイオスティミュラント(BS)とは

農林水産省は「バイオスティミュラントの表示等に係るガイドライン」において、バイオスティミュラント(以下、BS)を「バイオスティミュラント自体が持つ栄養成分とは関係なく、土壌中の栄養成分の吸収性、農作物による栄養成分の取込・利用効率及び乾燥・高温・塩害等の非生物的ストレスに対する耐性を改善するもの」と定義しています。

近年の高温等気候変動への対応策としてBSへの期待が高まっています。一方で、作物にとって不良な環境条件にさらされないと効果が発揮されにくい資材が多いことから、BSは「保険的な資材」と認識して使用することが重要であると考えます。

2. BSの現状

ガイドラインでは、販売者が適切な試験で効果を確認し、その内容を表示することが求められていますが、BSは農薬や肥料のような法的な登録制度や規制の対象となっておりません。このため、本当に効果のあるBSを使用者が判断することは難しい状況にあります。

3. 本会のBS取扱基準

本会はBSの施用効果を担保するため、取扱基準を定めています。上述のガイドラインの要件を満たし、以下の3つの要件を満たす資材を重点品目としています。

- ①効果が科学的に説明つくこと
- ②公的機関や全農研究室での試験結果があること
- ③現地実証事例が複数あること

4. 本会のBS重点品目と当課での試験について

(1) 令和7年度試験(エンビタ、北興化学工業)

空気中の窒素をアンモニア態窒素に変え、作物に供給する微生物(グルコンアセトバクター属菌)が有効成分で、収量向上への効果が期待されます。令和7年度は水稻圃場2か所で試験し、1か所では約8%収量が向上しましたが、もう1か所では効果が見られませんでした。地力が高く、植物の窒素栄養状態が良好な条件下では、BSの効果が発揮されにくい可能性があることが示唆されました。令和8年度も水稻で継続試験します。

(2) 令和8年度試験

効果確認および効果的な施用方法の検討のため、以下のBS重点品目の試験を実施します。なお、一定の効果が確認されたBSについては、本紙面等で紹介していきます。



なつつよし



アビオスリーF



エンビタ



クロスバリヤー

製品名	メーカー	成分	効果	R8試験作物
エンビタ	北興化学工業(株)	微生物 (グルコンアセトバクター属菌)	養分吸収の改善	水稻
なつつよし	クマイ化学工業(株)	植物(ムラサキ)抽出物	耐暑性改善 秀品率向上	水稻
クロスバリヤー	日本農業(株)	微生物(バチルス属菌)	養分・水分吸収の改善 環境ストレス耐性を高める	大豆
アビオスリーF	シンジェンタジャパン(株)	植物発酵液	光合成の改善 環境ストレス耐性を高める	大豆

各事業部プロミス活動

「純情産地いわて」が目指す「理想像」その3つの柱。

「つなげる」

いわての農業を継承し、
価値を高め、
未来へ繋げる。



持続可能な営農プロジェクトセミナーを開催

令和8年2月3日(火)

本会は2月3日、盛岡市で「令和7年度持続可能な営農プロジェクトセミナー」を開催しました。本セミナーは、「農家手取り最大化プロジェクト」の成果をもとに、県内3JAを拠点に進めるスマート農業技術や高温対策資材などの最新技術の実証結果を共有し、経営・生産・指導技術の向上を図ることを目的に実施しました。当日は約60人が参加し、先進的にスマート農業へ取り組む農家の基調講演や、県・本会担当者による実証成果報告が行われました。



実証成果報告を行う営農技術課の藤原課長代理

「ひろげる」

生産者とともに、
その想いを
消費者の食卓へと
広げる。



岩手県本部キックオフ大会を開催

—「純情産地いわて」の未来へ、令和8年度がスタート—

令和8年4月2日(木)

本会は4月2日、岩手教育会館で「岩手県本部 令和8年度キックオフ大会」を開催し、新年度の事業方針と計画達成に向けた認識共有を行いました。

高橋県本部長は、「いわて農業強化ビジョン」の目標達成や食料システム法を踏まえ、生産者の手取り向上に向け職員一丸となった取り組みの重要性を説明しました。

続いて、山田常務理事の講話では、「JA全農事業ビジョン2030」に基づく戦略実践と、本会の役割理解を深めるための情報発信強化について説明されました。

本大会を通じ、職員は地域農業とくらしを支える「なくてはならない全農」を目指す決意を新たにしました。



講話する山田常務理事

「根を張る」

地域社会の
一員として、
強く根を張る。



スピードスケート吉田雪乃選手へ「白銀のひかり」贈呈

—活躍を応援—

令和8年3月13日(金)

JAいわてグループは、岩手県スケート連盟に所属し、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックで活躍した吉田雪乃選手に、岩手県産米を贈呈しました。

盛岡市で行われた贈呈式は、JAいわてグループが、本県を拠点に競技活動を続け、世界的に活躍する吉田選手を応援するとともに、岩手の農業のPRと地域貢献を目的として行われました。吉田選手は、「試合前にはお米を食べてパワーをつけているので白銀のひかりをいただけて嬉しい。きらきらと輝くお米はスケートリンクを思い出させる。これからもお米をたくさん食べ、4年後(2030年)にはさらに強くなって、メダルを目指して頑張りたい」と決意を述べました。



白銀のひかり60kgが贈呈されました

JA全農いわての純情人

じゅん じょう びと

NEW EMPLOYEE 新入職員編

今年度、この5人が新たに仲間入りしました。

- 1 出身地
- 2 趣味・特技
- 3 好きな言葉
- 4 入会前、感じていた“全農”のイメージは？
- 5 社会人としての意気込み



きくち みさき 菊池 美咲

[畜産酪農部 家畜市場課]



- 1 奥州市前沢
- 2 飼猫と寝ること。漫画や小説を読むこと。
- 3 「人間の最大の罪は不機嫌である」どんな事があっても、自分で自分の機嫌を取ることができ他人に迷惑をかけないのが大人としてあるべき姿だと思うからです。
- 4 当初は「農協と何が違うのかわからない」というのが率直なイメージでした。名称からの連想で農業関係のお仕事なのだろうとは思っていましたが、具体的にどのような団体であるのかは知らず、就職活動を通じて概要を知った後は「昔から農業を支えてきた大きな組織」という、少し硬派な印象を持っていました。
- 5 入会時の研修で教えていただいた言葉の通り、社会に対して「守られ与えられる側」である学生から「守り与える側」の社会人になったのだという意識を常に忘れず、責任感と熱意を持って職務に励みたいと思います。

すずき まお 鈴木 麻央

[園芸部 園芸特産課]



- 1 岐阜県瑞穂市
- 2 スポーツ観戦
- 3 「見えない努力」成功を得るためには見えないところでの地道な努力が大切だと思うからです。
- 4 全農は、日本の農業を支えている組織だと感じていました。「組合員の経済状態を改善し、社会的地位の向上に貢献する」という事業目的や事業が多岐に渡ることから、幅広い視点から農家の収入や地位の向上に携わることができると思い入会しました。
- 5 岩手県について知らないことがたくさんあります。地域の農業を支える立場として、岩手県の農業や地域について詳しくなれるよう、学びの姿勢を大切に頑張ります。よろしくお願いします。

まつがしら ゆきの 松頭 薫乃

[米穀部 米穀販売課]



- 1 普代村
- 2 音楽鑑賞
- 3 「一意専心」目の前にある大事なことに對して、まっすぐ向き合っていきたいからです。
- 4 組合員の方とのつながりを大切にしている組織というイメージがありました。始めてまだ数日ですが、日々の業務の中で、組合員の方と常に連絡を取り合い、私たちの「食」を支えていると改めて感じています。まだ全農について知らないことのほうが多いですが、業務を通じて全農について知っていききたいと思っています。
- 5 社会人として全農職員として、周りの方々に比べ何も知らないことに對し、焦りを感じることも多々ありますが、日々の学びや経験の中で少しずつでも成長し、早く皆さんの役に立てるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

さいとう りょうたろう 齊藤 諒太郎

[園芸部 園芸特産課]



- 1 滝沢市
- 2 趣味は、漫画を読むことです。特技は、ルービックキューブを6面そろえることができます。
- 3 「何かを変えることができる人間がいるとすれば、その人はきっと大事なものを捨てることができる人だ」『進撃の巨人』より
新しい環境で成長するためには、様々な視点から柔軟な思考をもつことが大事だと感じたからです。
- 4 入会前は、全農は農業を支える大規模な組織であり、生産者と消費者をつなぐ重要な役割を担っているというイメージを持っていました。また、私は、地域農業を支え、地域に貢献することができると考え入会を決意しました。
- 5 社会人としての自覚と責任を持ち、何事にも主体的に挑戦していきたいと考えています。業務を通して、成長しながら、一日でも早く戦力となり、地域や生産者の方々に貢献できる存在になれるように努力していきます。また、周囲とのコミュニケーションを大切に、信頼される社会人を目指します。

ささき じゅんや 佐々木 隼也

[生産資材部 生産資材推進センター]



- 1 宮古市
- 2 柔道、釣り、ボードゲーム
- 3 「やって後悔しない」迷ったときは行動することで、自分の成長につながると思っています。
- 4 入会前の全農のイメージは、農家をつなぐ役割を持ち、生産や補助を通して農業に貢献していると感じていました。一方で、具体的にどんなことをしているかなどは見えず、現場にどのように関わっているかイメージが持てなかったです。仕事を通して、理解を深めていけるよう努力したいです。
- 5 今後は社会人としての自覚を持ち、一つ一つの業務に真剣に取り組みたいです。また常に学ぶ姿勢を忘れず、周囲とのコミュニケーションを大切に、信頼される存在を目指せるよう努力します。多くのことに挑戦し、自身の成長につなげていきたいと思っています。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



▼ 岩手県産和牛とお米のフェア

全農が直営する飲食店舗(3店舗)で「岩手県産和牛とお米のフェア」が開催されます。

フェアでは、各店舗で「いわて牛」を使用した特別メニューを提供するほか、期間中メニューのご飯すべてを「銀河のしずく」で提供します。

■ 期間…令和8年4月29日(水)～6月25日(木)

■ 実施店舗・対象施設

- みのる食堂 三越銀座店(東京都中央区銀座4-6-16)
- 和牛とごはん 焼肉じゅん 枚方市役所前店(大阪府枚方市大垣内町1-4-10)
- 和牛とごはん 焼肉じゅん 大阪ドームシティ店(大阪府大阪市西区千代崎3丁目南2-14)

いわて牛

豊かな大自然と肉牛産地としての伝統に育まれたいわて牛。日本最高級のブランドを支えるのは、澄んだ空気と美しい水、本州最大の広さを誇る岩手県の肥沃な大地。そして一頭一頭を慈しむ、畜産農家のきめ細やかな愛情。いわての大自然を父として、つくり手のおもいやりを母として、芸術品ともいわれる美味しさが育てられます。



銀河のしずく

岩手県が10年もの歳月をかけて生み出したオリジナル品種「銀河のしずく」。

炊き上がりの白さと一粒一粒のつやが銀河のしずくの特徴です。

さっぱりとした味わいとしっかりとした粒感も持っており、味の濃いおかずやお茶漬けなどの汁物にも最適です。



▼ いわて純情米消費拡大月間フェア

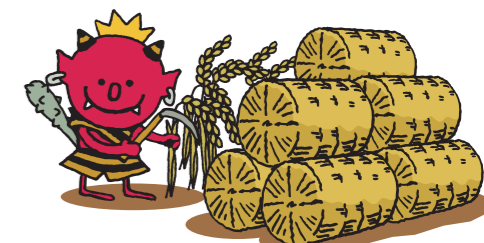
全農が直営する岩手県内の飲食店舗2店舗で「いわて純情米消費拡大月間フェア」が開催されます。岩手県や全農岩手県本部で構成するいわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会は、銀河のしずくと金色の風の記念日を(一社)日本記念日協会に申請し、令和5年1月12日に正式登録されました。4月29日(銀河のし(4)ず(2)く(9))から5月29日(こん(5)じ(2)き(9)の風)の1ヵ月間を「いわて純情米消費拡大月間」として、いわて純情米の認知度向上・消費拡大のPRに取り組んでいます。

フェア期間中、お食事メニューご注文の方のご飯おかわり無料になるほか、先着100名様(×2店舗)に『いわて純情米応援団長 天津木村』クリアファイルをプレゼントします。

■ 期間…4月29日(水)～5月29日(金)

■ 実施店舗・対象施設

- みのるダイニング フェザン盛岡店(盛岡市盛岡駅前通1番44号)
- 銀河離宮(盛岡市菜園1-14-10 第二産業会館1階)





いわて 純情 むすめ 募集2026



Maemukini Hitamukini



photo: 2025 いわて純情むすめ



純情産地いわての魅力を 全国に伝えてみませんか



IWATE JUNJOMUSUME AUDITION 2026

2026いわて純情むすめ募集要項

【応募資格】
 ①2026年7月1日現在で、満18歳以上の健康で明るい女性。既婚未婚は問いません。
 ※但し高校生は除く。
 ②若手県立生者で、自産他産は問いません。
 採用後の1年間が県外に転居する予定のない方。
 ③採用後の1年間を通して、県内外で開催するイベント・販売促進活動・メディア出演・テレビ番組出演等各種行事のほか、研修等に曜日を問わず参加・協力できる方。

【応募方法】
 JA全農いわてホームページ内の応募フォームからご応募できます。
 下記必要事項を必ずご記入の上。
 ①身長 ②志望の動機 ③趣味・特技 ④自己PR
 ⑤いわて純情むすめや若手県産農畜産物へのイメージ
 ⑥いわて純情むすめになってやってみたいこと
 ⑦応募を知った広告媒体
 ⑧盛岡市サンビル(盛岡市大通1-2-1)までの交通手段・経路(原則、公共交通機関利用の場合で記載すること)。

3か月以内に撮影した鮮明で加工されていないカラー写真「正面向きの全身写真・顔写真(顔のはっきり分かるもの)それぞれ1枚ずつ」を添付ください。

JA全農いわてホームページ内「2026いわて純情むすめ」応募フォームからご応募ください。JA全農いわて 後 選 び

※お預かりした個人情報は事務処理に際して適切に管理し、審査の目的で使用いたします。審査以外に開示することはありません。採用後以内の個人情報についてご個人情報保護法における個人情報マーク(優良の手帳)についてお問い合わせください。

【応募締切】 2026年5月24日(日) 23:59まで
【募集人員】 5名(1名)
【審査方法】
 ①第1次選考……………書類審査により20名程度を選考。結果は書面にて通知いたします。
 ②最終選考……………面接審査(私服着用)により選考。2026年6月4日(木)(予定)
 ③事前研修……………2026年6月10日(水)・11日(木)(予定)
 ④認定式……………2026年6月25日(木)(予定)
 ※原則、上記日程に参加できる方 ※選考方法は変更となる場合があります

【活動期間】
 2026年6月(準備期間) 2026年7月1日～2027年6月末日

【報酬】
 報酬規程にもとづき、業務の都度報酬および交通費・宿泊費を支給いたします。ただし、事前研修は報酬の支払いはありません。
 ※報酬例……………県内活動/一日10,000円 *3時間以内(ただし、8時～18時までの勤務の場合) 5,000円
 ※交通費例……………県外活動/業務日11,000円 *移動日4,000円
 ※交通費例……………県内/基本交通費1,000円とする。ただし、その金額を上回る場合は実費相当額とする。
 ※報酬・交通費・クリーニング費用から所得税を控除する。

賞品

- ①応募者全員
みのるダイニングお食事券
1,000円分
- ②第1次選考通過者(最終選考出席者)
みのるダイニングお食事券
3,000円分
- ③採用決定者
正式認定証(記念盾)
副賞・VISAギフトカード(10万円分)
みのるダイニングお食事券(1万円分)
JAタウンいわて純情セレクトギフトカード(1万円分)

純情むすめの活動はSNSで配信中!



JA全農いわて お問い合わせ先 〒020-0023 若手県盛岡市内丸2-10 1F TEL.090-1378-2545 受付時間 9:00～17:00まで(土・日・祝日を除く)

編集後記

特集では、みのるダイニングについてお届けしました。みのるダイニングでは、これからも若手県産産材を使ったフェアを開催しますので、ぜひ足を運んでみてください。(嶋中)



タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

- 私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
 - 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
 - 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農いわて 純情ブランド推進室 〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8629 FAX019-626-8634
 JA全農いわてホームページ <https://www.junjo.jp>

